

事業所名

さくだいらキッズらぼ 岩村田教室

支援プログラム

作成日

令和7年

2月

14日

法人（事業所）理念		わくわく！たのしい！をモットーに、子どもたちの自己肯定感と社会で生きる力を育む。					
支援方針		様々な遊びや活動の中で、自分の良さや他者との違いを知り、自分は自分でいいんだという自己肯定感を育む。 個々の成長発達段階に合わせた活動を通じて、成功体験を積み重ね、自信と挑戦する心を育む。 他者との関わりからコミュニケーションの経験を積み、社会で生きていく力を育む。 ご家庭や学校などの関係機関と連携し、情報共有と相互理解を深めながら、子どもとご家族の地域生活を支援する。					
営業時間		平日9時 休日9時	30分から 00分から	17時 17時	30分まで 00分まで	送迎実施の有無	あり なし
支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・スケジュールに沿った行動をすす中で、時間への意識、行動や気持ちの切り替えを促す。・調理活動により安心安全な食への興味関心を広げ、日常生活スキルである調理経験の機会を提供する。・ストレスとの付き合い方や発散方法などを知ることで、健康的な生活を送る力を育てる。					
	運動・感覚	・ボール運び・サーキット・ジェスチャーゲームといった身体を使う遊びやダンス・ヨガなどの活動を通じて、体の使い方やボディイメージ、バランス、協調運動の力を育む。 ・紙工作や粘土などの製作活動を通じて、目と手の協調、手指感覚や手指の巧緻性を育む。 ・近隣の公園にでかけ、大型遊具で遊ぶ、鬼ごっこやサッカー等の球技遊びを通じて、全身運動、協調運動の機会を提供する。					
	認知・行動	・視覚聴覚の優位性や情報処理のパターンなど、児童一人ひとりの認知特性に合わせた声掛けや指示の出し方に配慮する。・文字や形を扱う読解や、情報や状況から判断し行動するアナログゲームなどの遊びを通じて、ルールの理解、情報の処理や統合、判断し行動する力を育む。・SSTなどを通じて自分の認知行動のパターンを知り、適切な行動の選択や自己理解を深めることができるよう支援する。					
	言語・コミュニケーション	・挨拶や誘い方・断り方といったコミュニケーションの練習を行い、実際場面で活かせるようサポートする。 ・実生活に沿った困りごとを例に、どうしたら周りや仲良くできるか、相手も自分も心地よく過ごせるかといったことを、ロールプレイや対話を通じて学ぶ機会を提供する。 ・表情やジェスチャー、絵カードなどのコミュニケーション手段を用いて、児童の表現手段が広がりコミュニケーション力が伸びるよう支援する。 ・児童の読み書き能力に合わせた宿題のサポートを行う。					
	人間関係・社会性	・児童の不安や焦りに寄り添い、安心できる場所、安心できる大人としての役割を果たせるよう支援する。・児童が遊びのルールを理解し集団活動に参加できるよう支援するとともに、共に活動することを通じて仲間づくりにつながるよう支援する。・自分の得意不得意や行動の特徴を理解し、自己を肯定的に見られるよう支援するとともに、自分の気持ちや状態に応じた行動ができるよう支援する。・他者の気持ちや意図を理解し、相手に応じたことや場に応じた適切な行動ができるよう支援する。					
家族支援		・送迎時など児童の様子を保護者と共有する。 ・面談などを行い、保護者の方の不安に寄り添う。 ・年に3回程度さくらぼカフェ（保護者交流会）を行う。 ・家庭では確保しづらい体験の機会を児童とご家族に提供する。			移行支援		・就学進学時や児童館との併用、習い事の開始などの児童の状況の変化に応じて、学校や各種関係機関との連携や支援会議の場を設ける。
地域支援・地域連携		・地域のイベントへの参加を通じて地域の方々との交流の機会を持つ。 ・地域の交流体験施設を利用して、地域の中に安心できる場所を作る。 ・地域のお店や公共施設など地域の方と触れ合える活動を企画し行う。			職員の質の向上		・虐待防止研修などの教室内研修を行う。・外部の各種研修へ参加する。・専門的な知識のあるスタッフを中心とした学習会を行う。・外部講師を依頼し、学びを深める。
主な行事等		・子ども主催のイベント（キッズカフェ、夏祭り、クリスマス会など）の開催。 ・地域のイベントでのレモネードスタンド出店。 ・保護者間交流イベント（さくらぼカフェ）の開催。 ・親子兄弟参加行事（BBQ、ポッチャ大会、釣り、ボーリング、味噌づくりなど）の開催。 ・季節に合わせたおでかけ（花見、川遊び、公園、博物館など）や調理活動（カレー、そば打ち、お菓子づくりなど）の実施。					